

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (1)国際戦略総合特区(4/7)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)		
			I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)
京浜臨海部 ライフイン ベーション国 際戦略総合 特区 (神奈川県 等)	正	B 4.0	B 3.5 進捗度 ・検体・情報基盤 に対する 設備投資額 78.9% ・アジアセ ンター化 に伴う研 究開発 外注の 増加 70.7% 等	B 4.2 規制の特例等 ・特定健診・ 特定保健指 導に係る措 置 等 財政支援等 ・投資促進税 制支援 1件 等 地域独自の取組 ・神奈川県産 業集積支援 融資 等	+0.14 ・研究開発部門(※1)では、取組自体は積極的に行われ一定の成果(※2)を上げており、その支援施策(※3)も充実している。一方、データベース部門(※4)など、一部において予定の遅れ(※5)が生じており、それが他の部門にも影響して、成果指標が低くなっている箇所(※6)がある。 ・国立機関の移転(※7)ではなく、 <u>現地の人的資産を有効活用することに、もっと重点を置くべき。</u> ・財政のみならず、種々の支援措置を活用して、活性化するよう取り組んでほしい。 ※1: 医工連携の推進により、次世代医療機器の開発に寄与する5事業(①腹腔鏡下手術術前支援機器、②家庭用超音波画像装置、③バイオ人工尿細管デバイス、④ヒト軟骨デバイス、⑤低侵襲採血用の注射針を搭載した健康モニタリング機器の開発)を実施。 ※2: 次世代医薬品・医療機器の新規開発件数(H24年度目標)5件、(実績)5件、進捗度100% ・新たな研究開発費(H24年度目標)16億円、(実績)19.7億円、進捗度123% ※3: <国の支援> 経済産業省「課題解決型医療機器等開発事業」H24補助額 300,000千円 等 <地方の支援> 横浜市「中小企業新技術・新製品開発促進事業」H24補助額 174,081千円 等 ・川崎市「産学共同研究開発プロジェクト補助金」H24補助額 17,069千円 ※4: 健診・疾患情報等の大規模データベースを構築。 ※5: H24年度はNEDOの「IT融合システム開発事業」に申請するも不採択。アミノインデックスの普及に伴い、データ蓄積環境の整備が進む一方で、データベースの運営事業者の調整はやや難航しており、少し遅れが生じている。 ※6: 健康関連産業による売上額、各種製品・サービスの研究開発費(H24目標)19億円、(実績)3.4億円、進捗度18% ※7: 平成28年度までに国立医薬品食品衛生研究所の移転を予定。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。